

仁池 (にいけ)



諸元

貯水量	344.4	千m ³
満水面積	11	ha
受益面積	91	ha
堤高	8.2	m
堤長	407	m

仁池は観音寺市池之尻町の観音寺市総合運動公園の近くにあります。県内で多くのため池を改修したと伝えられる西嶋八兵衛が西讃地区で最初に築造したのが仁池です。地形的に谷間に位置し、広大な上流域からの雨水流入や池の中に湧水(出水)があるなど恵まれた立地条件の中、二つのため池をかさ上げして一つのため池にすることにより寛永6年(1629年)に完成しました。当初、二つの池を合わせたことから「二池」と表記されていましたが、記録等によれば、大正14年(1925年)頃から「仁池」と表記されているようです。老朽化に伴い、明治・大正・昭和と幾度も改修が行われてきましたが、平成11～12年に国営総合農地防災事業により全面改修され、現在に至っています。

仁池の受益地には旧池之尻村と旧植田村があり、昔から干ばつによる水争いがあったため、水利慣行が取り決められてきました。寛永8年(1631年)に最初の水利配分が取り決められて以降、数度にわたって改正されてきましたが、現在は香川用水の導水により昭和51年(1976年)に定められた水利慣行のもと灌漑が行われています。

また、仁池周辺には多様な水生植物が生い茂っており、様々な野鳥が観察されるため、憩いの場所として地域住民に親しまれています。



仁池



国営総合農地防災事業改修記念碑